



「見事な見事な体育大会でした。」 (10月21日 体育大会 閉会式 校長の言葉)

- ▶「気炎万丈～燃え盛る 可美中魂～」…スローガンにふさわしい見事な体育大会でした。流石、可美中生です。全ての種目を見終えた今、私の心の中には、あたたかいものが残っています。それは感動の塊です。秋の日差しの中、真剣さと躍動感にあふれる、素晴らしい競技・素晴らしい演技でした。それらを心から楽しみ、仲間を信じ、力を出し切った可美中生が感動を作り出しました。
- ▶心に残る場面がたくさんありました。「笑顔のダンス」「思いをつなぐリレー」そして…「気迫の応援合戦」…いずれもいずれも見事でした。全てのクラス・全ての団の健闘を互いに称えあい、今ここで、盛大な拍手を送りましょう。
- ▶体育大会大成功の陰に、実行委員・生徒会役員・吹奏楽部・会場をつくってくれた部活動有志・実況で盛り上げた放送委員・生徒と一緒にここまでやってきた先生方、毎日グラウンドの草取りをしてくださった用務員のみなさん、受付や撮影で御協力いただいたPTA役員のみなさん・応援合戦の審査を手伝ってくださった学校運営協議会のみなさん…、多くの方の支えがありました。また、長時間にわたって応援してくださった保護者のみなさんにもあらためて、感謝申し上げます。ありがとうございました。
- ▶そして、最後に、可美中生がこの体育大会で感じた「感動・友情」を胸に、さらに大きく成長すると、私は今、確信しています。みなさんの目を見ていて強くそう感じました。見事な見事な体育大会でした。ありがとうございました。以上を私の講評・感謝の言葉といたします。

(北村 健治)





